

動的ハイパーテキストを用いたオンラインヘルプシステム —オンラインヘルプ作成支援ツールの開発—

3S-6 大野聰†, 納富一宏‡, 斎藤恵一†, 内山明彦†

†早稲田大学理工学部

‡神奈川工科大学情報工学科

1.はじめに

現在、オンラインヘルプの形態は、ハイパーテキスト形式が広く利用されている。しかし、実際にヘルプを利用してみると、初心者向け・上級者向けの情報が混在して記述されているため、ユーザにとっては不要な部分が多く、知りたい情報に達するには手間がかかる。

このため、我々はオンラインヘルプ検索の操作性向上を目指し、「動的ハイパーテキスト」を考案した。これは、従来のハイパーテキストに対して、パラメータによってハイパーリンク先を変化させることができる機能を追加したシステムである。そこで我々は、製品に対するユーザの理解度をパラメータに採用し、理解度によってヘルプ内容が変化するオンラインヘルプシステムを開発した。このシステムはオンラインヘルプ作成支援ツールおよびオンラインヘルプビュアによって構成されている。我々は実用性を調査するために、実際に動的ハイパーテキスト形式のオンラインヘルプを作成し、簡単な評価を行った。以上について報告する。

2. 動的ハイパーテキストの概要

動的ハイパーテキストのハイパーテキストから拡張された機能について述べる。

・動的リンク機能

パラメータによってキーワードからのハイパーリンク先を動的に変化させることができる(図1)。

・従来のハイパーテキスト・動的ハイパーテキスト

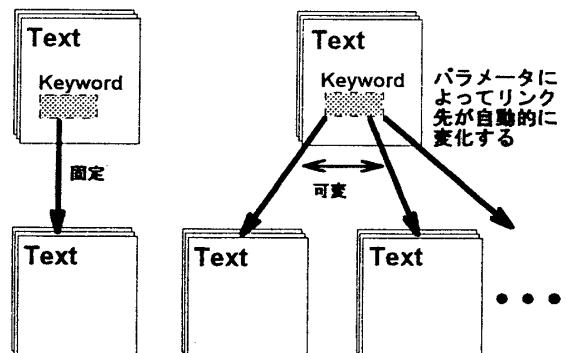


図1 動的ハイパーテキスト

・表示テキスト変更機能

パラメータによってテキストの表示・非表示がコントロールできる。

これらの機能により、我々が作成した、パラメータにユーザの理解度を採用したオンラインヘルプシステムでは、ユーザの理解度を選択することにより異なるハイパーリンク先および不要なテキストの非表示を行なうことが可能である。このため、ユーザは必要とする情報を少ない手順で得ることができる。

3. オンラインヘルプ作成支援ツール

ハイパーテキスト形式のヘルプの作成は容易とは言えない。動的ハイパーシステムでも同じである。そのため、我々は動的ハイパーテキスト形式オンラインヘルプの作成支援を行うツールである「DHT(Dynamic HyperText) Editor」を開発した。本ツールはMS-Windows上で動作し、普通のテキストから、ユーザの理解度をパラメータとした動的ハイパーテキストを作り出す作業を支援す

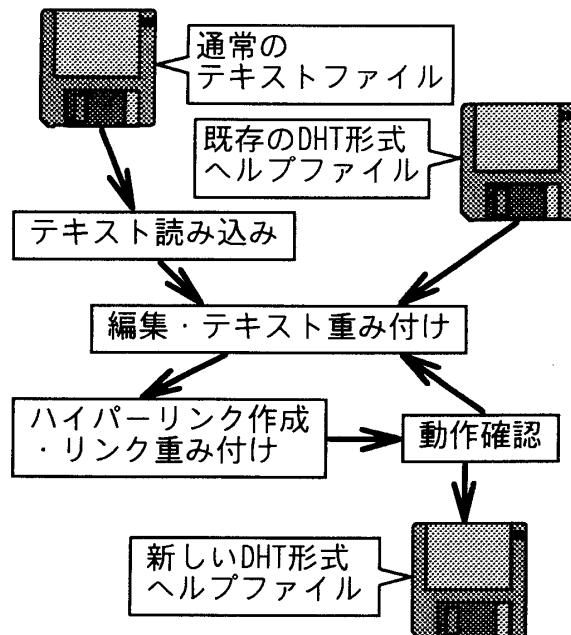


図2 処理手順

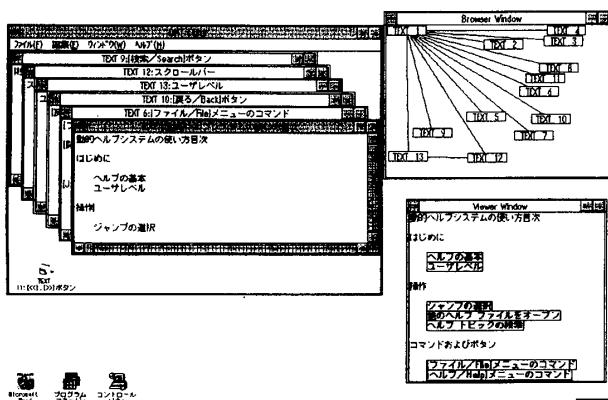


図3 DHT Editor

る。図2に処理手順を、図3に動作画面を示す。

・自動リンク

本ツールには簡単な自動リンク機能があり、ヘルプ作成者の負担を軽減している。

自動リンク機能は、各ページの見出しと一致するテキスト全てを検索し、検索したテキストからそのページにリンクを自動的に結ぶ。このリンクはヘルプ作成者により変更できる。

・動作確認

各ページ間のハイパーリンクはブラウザで確認・変更できる。また、実際の動作をビューア

でリアルタイムに確認できる。

本ツールで完成したファイルはWindows上で動作するDHT形式ヘルプビューアによって利用できる(図4)。

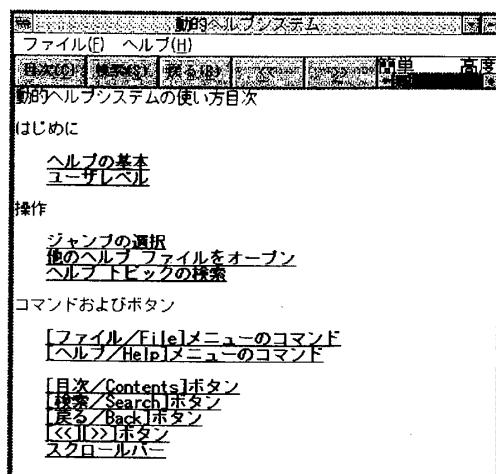


図4 ヘルプ表示例

本ツールを評価するために、30ページ、30リンク程度のヘルプを本ツールで作成した。その結果他のツールを使用するより簡単にヘルプを作成できた。また、ユーザの理解度により、ヘルプ内容が変化することが確認できた。

4. おわりに

今後の課題として、LANへの対応、マルチメディア化などが考えられる。また、DHT Editorについても、リンク生成の完全自動化、リンク重み付けの自動化が必要であると考えられる。

現在、本システムを当研究室で開発された「医療診断支援システム」のヘルプシステムとして試用し、評価を行なっている。

参考文献

- [1] 白石・納富ほか：“オンラインマニュアル作成支援ツール”，情報処理学会第45回全国大会,(1992)